

出前懇談会に参加して

大石田町建設業協会
会長 土屋 春義

10月24日、町建設業協会会員の皆さんと懇談会を行いました。出席した議員は9人。町建設業の現状と課題などについて意見交換を行いました。



現状と課題などについて意見を交わした懇談会

出席された議員に感謝し今後の活躍を祈念します。

また、近年増加している空き家対策や町内企業の育成強化策など町への要望、議会側からは町の財政事情など説明があり相互理解が深められ有意義な懇談会でした。

出前懇談会

東日本大震災の

教訓を活かせ

町議会と大石田町建設業協会との懇談会を開催しました。

懇談会では、町内建設業の現状と課題を説明して、

ざっくばらんに意見交換しました。

建設業協会としては、町の地形の熟知や建設資材の搬入など、これまで災害時の緊急応援体制の締結をしています



星川 一義 さん

星川一義さん(鷹巣)を固定資産評価審査委員会委員に選任することに全員賛成で同意しました。

任期は、1月20日から3年間です。

固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意



柏倉 孝志 さん

伊藤絹枝さん(下宿)、柏倉孝志さん(豊田)を人権擁護委員として国に推薦することに全員が賛成しました。



伊藤 絹枝 さん

人権擁護委員の推薦に賛成

町づくりに委員会調査レポート

活かします

広報常任委員会

読みたくなる
「議会だより」を目指して



「伝わる」議会広報紙を目指しての研修

10月21日から22日、140町村が参加して、東京で開かれた全国町村議会広報研修会に参加、「伝える」から「伝わる」議会だより編集技術を2日間みっちり研修してきました。

どんなにすばらしい議会活動でも、それを住民が知らなければ評価はな



「わかりやすく」ありのままに

25年度全国コンクール最優秀、岩手県金ケ崎町の編集モットーは「ありのままに」「わかりやすく」「スピード発行」とあり、県内でも高い技術を持つ庄内町、川西町等の議会だよりを参考に「読まれ」「親しまれ」「伝わる」議会だよりを目指そうとの思いを強くしています。(記 小林)

11月13日と14日、先進地の議会運営を調査するため、岩手県西和賀町議会と秋田県八郎潟町議会を訪れました。

初日の西和賀町では、議員と一般町民が町の財政についての勉強会を実施。全国初となる議員主体での財政白書を発刊しています。決算の状況を分析し財政の仕組みやお金の使い方を町民とともに学び監視機能を高めたとのことです。

2日目の八郎潟町では、町民に開かれた議会を目指し、町民が日頃感じている議会の課題や議員に対する視点等について、広く意見を聴くためアンケート調査を実施。調査結果を議会運営に反映させる取り組みを行いました。

両町の視察を通してすぐできることもあり、見習うべき点は検討すべきと感じました。(記 村岡)

議会運営委員会

住民とともに学び 監視機能を高める



議員主体の財政白書を発刊している西和賀町